

現代文学館本集

改造

山本實彦

かごしま近代文学館企画展

生誕一四〇年

KAIZO

改造社



2025 1.29 [水] ▶ 3.3 [月]  
かごしま近代文学館 常設展示室2階

[開館時間] 9:30~18:00 (入館は17:30まで)  
[休館日] 火曜日、2月12日(水) ※2月11日(火)開館  
[観覧料] 大人 300円(240円) 小・中学生 150円(120円)  
※( )内は、20名以上の団体時の料金です。※年間パスポートもご利用になれます。  
かごしま近代文学館 〒892-0853 鹿児島市城山町5-1  
Tel.099-226-7771





究極のところ、こうした事業も、  
 やっぱり一つの創作である。  
 自分の腹からこみ上げてくる  
 自信と創意とがなければ、  
 世を動かす、人を動かすことは  
 できぬように思う。

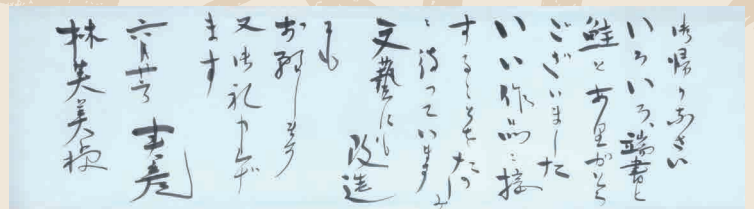
「十五年」小閑集



今から100年以上前の1919(大正8)年4月、総合雑誌「改造」が改造社から創刊されました。この改造社を興したのが、川内市(現・薩摩川内市)出身の山本實彦です。

「改造」は大正時代を代表する総合雑誌となり、改造社は、1冊1円の通称「円本」の発売やバートランド・ラッセルやアインシュタインの招聘などにより社会的反響を呼び、大正から昭和にかけて出版界をリードしました。

本展では、大正から戦後までの激動の時代を、2025年1月に生誕140年を迎えた山本實彦の生涯と、改造社の出版活動に注目して辿ります。



関連イベント

ギャラリートーク

- 日時/2025年2月9日(日) 13時30分～
- 場所/企画展会場(常設展示室2階)
- 定員/10名程度(当日先着)
- 内容/学芸員が展示内容を解説します。
- 料金/常設展示観覧券(一般300円)が必要

山本實彦 Sanehiko Yamamoto 1885(明治18)年-1952(昭和27)年

出版人、随筆家。鹿児島県川内市(現・薩摩川内市)生まれ。中学を中退して代用教員となった後、上京。「やまと新聞」記者、「東京毎日新聞」社長を経て1919(大正8)年、改造社を設立し、総合雑誌「改造」を創刊した。円本の発売や、バートランド・ラッセル、アインシュタイン、バーナード・ショウ、マーガレット・サンガーなど世界的な学者たちを日本に招聘するなど、創意あふれる出版活動を展開し、日本の出版界に大きな影響を与えた。また、鹿児島選出の代議士としても活躍し、川内川改修工事に着手した。



1 「改造」大震災号 1923(大正12)年10月 2 『現代日本文学全集』1926(大正5)年～1931(昭和6)年 改造社/1冊1円で販売し、昭和はじめの円本ブームを生み出した文学全集。 3 「改造」創刊号 1919(大正8)年4月 4 改造社が発行した雑誌の一部 5 改造社前でバートランド・ラッセル夫妻と 1921(大正10)年(前列右から1人目が山本實彦、3人目がバートランド・ラッセル) 6 山本實彦 林芙美子宛て封書 1934(昭和9)年6月22日/北海道・樺太への取材旅行から戻ってきた作家・林芙美子へ宛てた手紙。



交通のご案内

【鹿児島中央駅から】

- 市電/2系統鹿児島駅行き「朝日通」下車、徒歩7分
- バス/天文館、市役所方面行き「金生町」下車、徒歩7分
- カゴシマシティビュー/「西郷銅像前」下車、徒歩3分
- 車/約10分

【鹿児島空港から】

- リムジンバス/鹿児島市内行き「金生町」下車、徒歩7分
- 高速自動車道をご利用の場合/鹿児島北インターチェンジより、鹿児島市内方向へ約15分

駐車場のご案内(無料)

- 米館者用駐車場:13台(軽9台、一般車2台、身障者用2台)
- 近代文学館メルヘン館・美術館共用駐車場:普通車31台
- 周辺駐車場

- 鹿児島市役所みなと大通り別館駐車場(利用時間/平日8:30～19:00、土日祝9:00～19:00) ※駐車券を総合案内までお持ちください。

- かごしま近代文学館周辺民間駐車場(有料、マップ参照)

**P** 無料駐車場 **P** 有料駐車場

かごしま近代文学館

〒892-0853 鹿児島市城山町5-1  
 TEL.099-226-7771 <https://www.k-kb.or.jp/kinmeru>

